

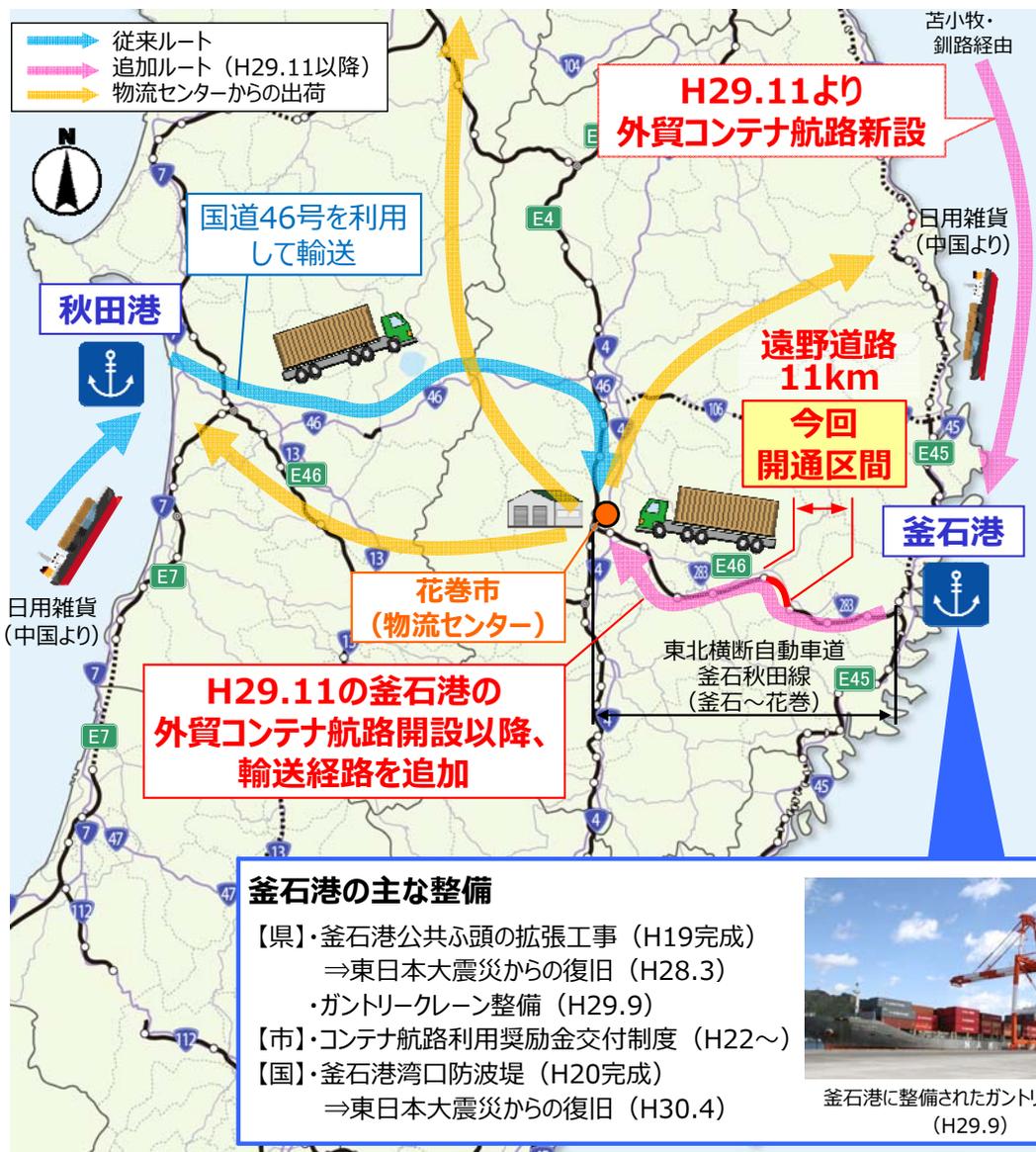
東北横断自動車道釜石秋田線(釜石～花巻) 位置図



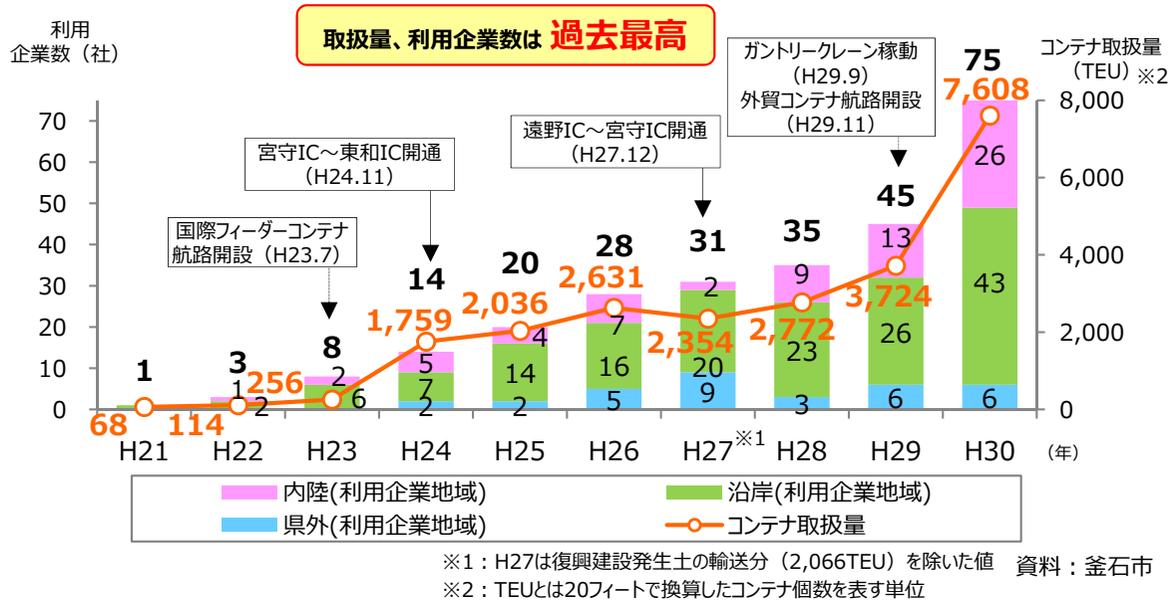
復興を支える物流の効率化を支援

- ◆釜石港では、東北横断道の開通やガントリークレーン整備などの港湾機能向上により、利用企業やコンテナ取扱量が増加。
- ◆花巻市に物流センターがある企業では、H29年11月の釜石港の外貿コンテナ航路の開設以降、東北横断道を利用する輸送経路を追加。輸送時間の短縮、輸送コスト低減が生まれている。
- ◆遠野道路を含めた東北横断道の開通により、復興を支える物流の効率化を支援。

■釜石港利用企業の輸送ルート状況（日用雑貨取扱い企業の例）



■釜石港利用企業数・一般貨物コンテナ取扱量の推移

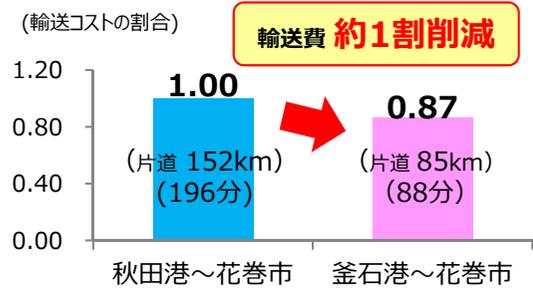


《日用雑貨取扱い企業の声》

- ◆港から物流拠点までの距離が短いことで、**陸上輸送コストの低減と輸送時間短縮が可能**となったため、釜石港からの輸送を開始しました。
- ◆現在は半数が釜石港を利用。今後は、釜石港をメインで利用する予定です。



■輸送コストの変化 ※企業データによる



資料: 【距離・時間】平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査 (昼間非混雑旅行速度・上下平均)
【輸送コスト・走行ルート】企業ヒアリング結果より
※輸送コストとは、港から物流センターまでの陸上輸送に関わる費用

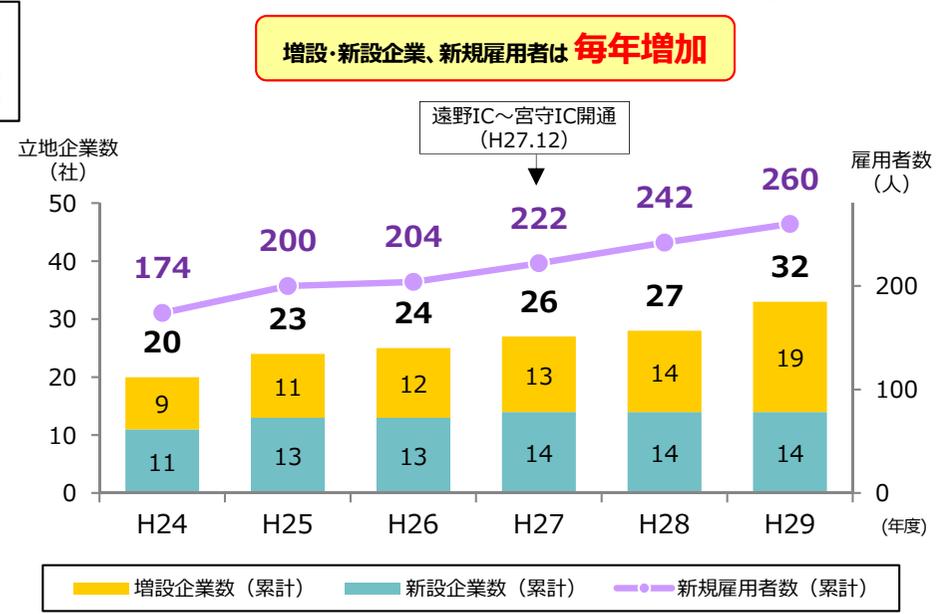
地域産業の活性化を支援

- ◆ 遠野市では、東北横断道の順次開通により、増設・新設企業、新規雇用者数が増加傾向。製造品出荷額は約1.5倍(H24→H28)に増加。
- ◆ 遠野道路の開通により、製造業者間の輸送が円滑になるなど、地域産業の更なる活性化を支援。

■ 遠野市～釜石市間の製造業者間の輸送ルート



■ 遠野市の増設・新設企業と新規雇用者数(累積)



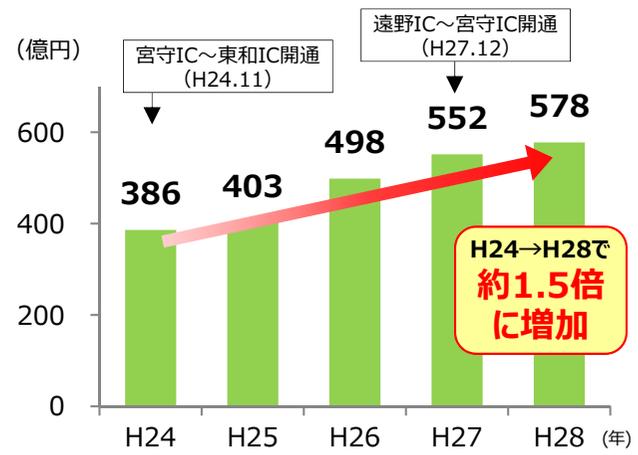
《遠野市の声》

- ◆ 岩手県南地域の自動車関連産業の拠点化や東北横断自動車道の順次開通により、遠野市内へ企業の参入や集積が進んでいます。
- ◆ また、道路の開通が進む内陸と沿岸の中間地点である遠野市を拠点とする企業立地が進んでいます。(H31.1 ヒアリング調査結果)

《遠野市製造業者の声》

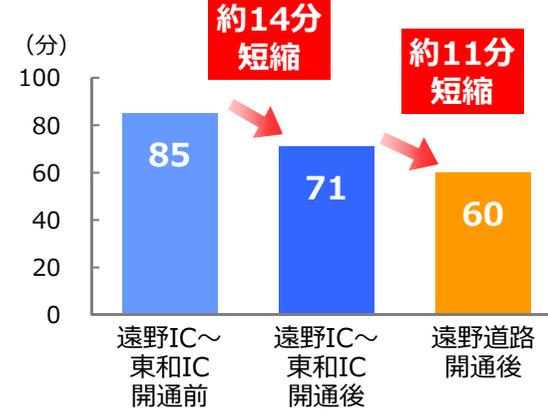
- ◆ 遠野市から釜石市へ機械部品を輸送しています。遠野道路の開通により利用ルートが変更でき、出荷時の往復時間短縮が図られます。
- ◆ 出荷時間までに余裕ができることにより、他の業務に携わる時間に充てることなどが可能になります。(H31.1 ヒアリング調査結果)

■ 遠野市の製造品出荷額の推移



出典：工業統計 (H27は経済センサスより)

■ 東和IC～釜石中央IC(仮)の所要時間の変化



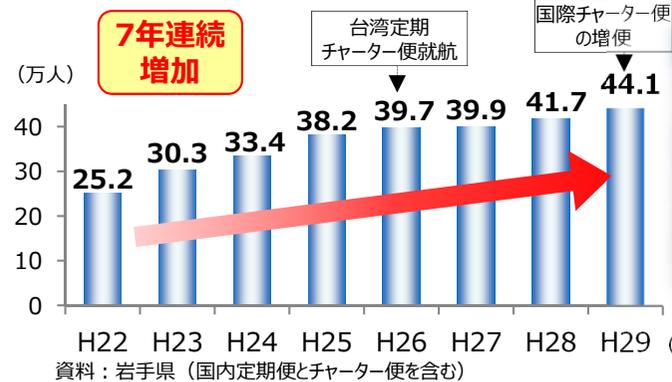
資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査
 ・非混雑時旅行速度、上下平均
 (開通後は道路構造に応じた速度により算出)

観光拠点へのアクセス性向上による広域周遊の拡大を支援

- ◆ 花巻空港ではH22年以降利用客数が毎年増加し、H30年度には台湾便と上海便の国際定期便就航が決定。
- ◆ 空港を有する花巻市や、今回開通区間である遠野市では、観光入込客数が横ばいの中、外国人観光客数が増加傾向。
- ◆ 遠野道路を含めた東北横断道の開通による観光拠点へのアクセス性向上で、広域周遊の拡大を支援。

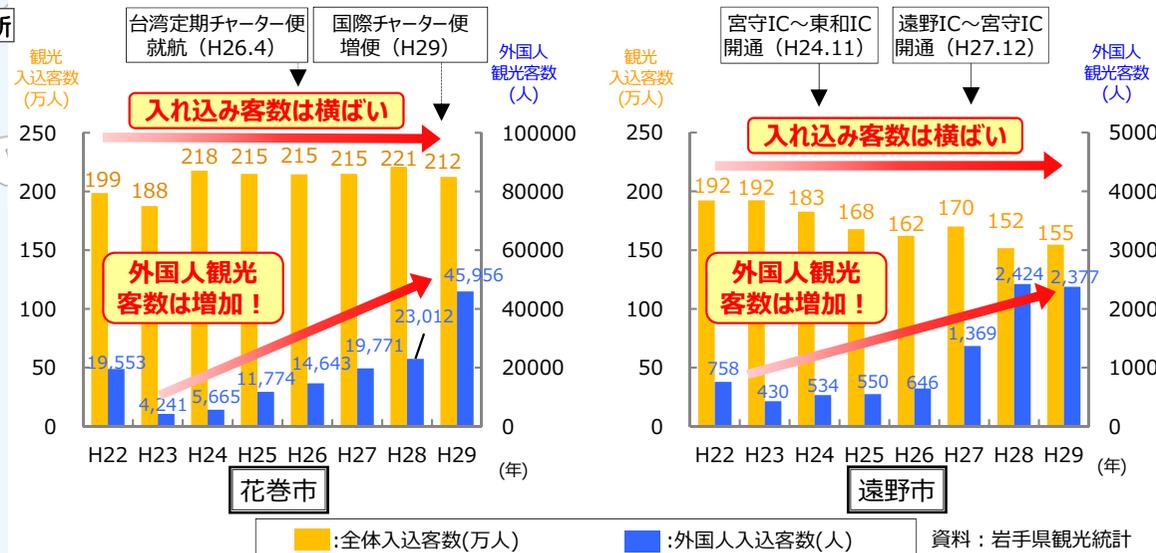


■ 花巻空港の利用者数



出典：花巻市観光課

■ 花巻市・遠野市の観光入込客数の推移



道路整備による所要時間の短縮効果

花巻市役所～釜石市役所

宮守IC-東和IC 開通前 110分

遠野IC-宮守IC 開通後 96分

遠野道路 開通後 85分

全線 開通後 80分

約14分短縮

約11分短縮

約5分短縮

時間短縮はH27年度全国道路・街路交通情勢調査を基に算出
(将来は道路構造に応じた速度で算出)

《旅行事業者の声》

- ◆ 国内ツアーやインバウンド対応のツアーコースでは、これまで岩手県沿岸地域は移動時間がかかりすぎると敬遠されがちでした。
- ◆ 東北横断道の延伸により、**所要時間の削減**でコースが組みやすくなるため、**沿岸地域へ来訪するツアー数増加や旅行を企画する機会が増えます。**

(H31.1 ヒアリング結果)